



所長の部屋



今さら聞けない病気の常識 : ⑩ 脳卒中 — ②脳出血

京都府南丹保健所長 時田 和彦

豆腐を買った時に、タッパー容器に水を入れ、その中に豆腐を入れて冷蔵保存しませんか？タッパーを頭蓋骨に、水を脳脊髄液に、豆腐を脳に置き換えると、人間の頭の構造は、タッパー内の水と豆腐にそっくりです。柔らかい脳を、脳脊髄液と頭蓋骨で守っているのです。

脳の中で起こる出血には、脳の内部の血管からの出血と、脳の外にある血管からの出血の 2 種類があります。タッパー内の水と豆腐でたとえると、豆腐の中で出血するか、豆腐の周囲の水中で出血するか、といった違いです。前者を脳出血、後者をくも膜下出血と呼びます。脳出血の原因は脳内の血管の破綻で、高血圧が引き金となります。

脳出血の症状は、前回説明した脳梗塞の症状とそっくりで、病変の場所により様々な症状が出現します。顔や手足の麻痺やしびれ、発声や会話がおかしい、物が二重に見えるなどです。これらに加えて、意識障害、頭痛、吐き気や嘔吐などが、急激に起こることがあります。このような時は、すぐに救急車を呼びましょう。

病院では、診察と CT などの検査で診断します。脳出血の治療は、出血部位と出血の大きさ、意識状態などにより、手術をするかしないかを決めます。

最も大切なのは、脳出血を起こさないことです。そのためには、常日頃の血圧コントロールが大切です。そもそも高血圧にならないよう、塩分摂取をなるべく減らし(夏の熱中症を除く)、太り過ぎや運動不足に気をつけ、健康な日常を送るよう心がけましょう。